



NO. 913

2013/4/7

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四五八  
F 四三二一四四五七



# 平成25年度 特別会計への反対討論！

## ズサンな土地造成の結果

## 地道な経営努力を

### 市有財産整備特別会計は、

潮見団地の宅地として売却してはならない造成地を市民に売却して甚大な被害を与え、昭和59年から地盤沈下対策として毎年移転補償を含む予算を計上してきました。

長年にわたる地盤沈下対策費は24億1300万円になり、今後も長期にわたって対策を講じなければならぬ。

市民と市財政に与えた影響は計り知れないので認められないと反対しました。

## 過大な計画の結果

### 網走港整備特別会計における

重要港湾計画は、当初から過大な計画であることを指摘し反対してきました。当初目標から見ると外貨で4分の1、内貨で3分の1に修正しても半分に満たない利用状況でいかに過大な計画であったかを証明しています。まだ、赤字の15億円はゼロ金利で救われていますが、金利上昇があれば第2の能取漁港特別会計の危険があり認められません。

### 流水館特別会計における流水館

は、本来、入場料収入で建設費の償還していくのを前提に認められた施設ですが、平成23年度より入館者減による収入不足、手持ちの基金不足により自主運営が出来なくなり、一般財源を投入して存続している会計です。

平成24年度は最低だった23年度より入込みが1万6千人回復したが、25年度の目標は22年度と同じ13万3千人ではない。

網走観光の核としての経営努力が求められる施設ですが、過去のリニューアルによる償還も平成28年まで続き、赤字経営を余儀なくされ、今後も一般財源を投入せざるをえない会計であり、認めることはできない。

他に、能取漁港・介護保険・国保・後期高齢者の特別会計に対しそれぞれの理由をつけて反対しました。



## いよいよ東奔西走

3月議会の予算審査特別委員会のなかで、フッ化物洗口事業について質疑しました。小学生の虫歯予防のために、すでに平成24年度に一部の小学校

で先行実施しています。国内外の専門機関が一致して有効性、安全性が十分に官立している。反対する団体や専門家は少ないうえ、希望者を対象に行うので問題はないとのことでした。

しかし、現実に反対、慎重の団体や歯科医師や専門家は少なからず存在し、フッ化物洗口の危険性について発信しています。

さらに一昨年、第三者機関であり、人権擁護や様々な被害救済や公害・環境問題に取り組むなど、自治機関として積極的に活動している日本弁護士連合会が違法性の疑いがあると判断し、全国の学校長、各自治体首長に意見書を送付していることは、非常に重いものがあります。希望者だけ洗口といっても、十分な賛否両論の説明を聞ける保証はなく、フッ化物洗口でなく他の方法で虫歯予防に成果を挙げている市町村も数多くあり、賛否両論と慎重意見が存在し、問題点が残されたままでは賛成できませんでした。

## 松浦奮戦メモ

4月3日付け「しんぶん赤旗」に原発ゼロ、再稼働反対で連帯し、6月2日に東京で集会を開くとの記事が書かれていました。原発をなくす全国連絡会、さよなら原発1000万人アクション、首都圏反原発連合の3団体が記者会見で「6・2 NO NUKES DAY（ノーニュークスデー）」を行うことを明らかにしました。

安倍政権が、民意とかけ離れた原発再稼働・新規建設の動きが強まる中、原発再稼働に反対し「原発ゼロ」への転換を求める運動を結集する行動です。

最近のマスメディアは、反原発運動についてほとんど報道をしなくなりました。

とりわけ安倍政権が登場してからは極端に報道しなくなったと感じていましたから、今回の行動提起は、おおいに歓迎したいと思いますし、全国での原発ゼロをめざす運動を広げる活動につなげたいものと考えています。

## 流水

4月からのスタートを知人の青年達が次のように迎えた▼Kさんは6年前、心の傷を抱えながら職場

を異動し、澄んだ空気と出会いの中で過ごした。「今度はE町に勤務です！3年生です。」と、笑い声と一緒に響いてきた。学級作りは、♪ピアノの伴奏で始まるだろう

▼Sさんは、5年間も契約社員として他町からやって来て配達の仕事が続けたが、3月で退職を決意した。4月から再就職は決まっていなかった。選挙に行けなかった程多忙だったと。如何している▼Mさんは、昨年大学卒業後、食品に関わる会社に就職をし、「仕事が面白い、給料も嬉しい」と、その想いは合唱のハーモニーに溶け込んでいる。そして3月、正社員にはなれず面接により契約をし直したそうだ。「毎年契約をしなければならぬかも?。」と▼KさんとMさんの場合は、安倍政権が押し進める「トライアル（試行）制度」に違いない。最初から正規雇用で雇った企業にはお金が渡されず、非正規雇用で雇った企業にだけお金が渡されると言う制度だ。この仕組みが分かってほしい。「自分の1票は、如何にするか」と、声をかけ、資料を届ける。3人のスタートが輝いてほしくて。(て)